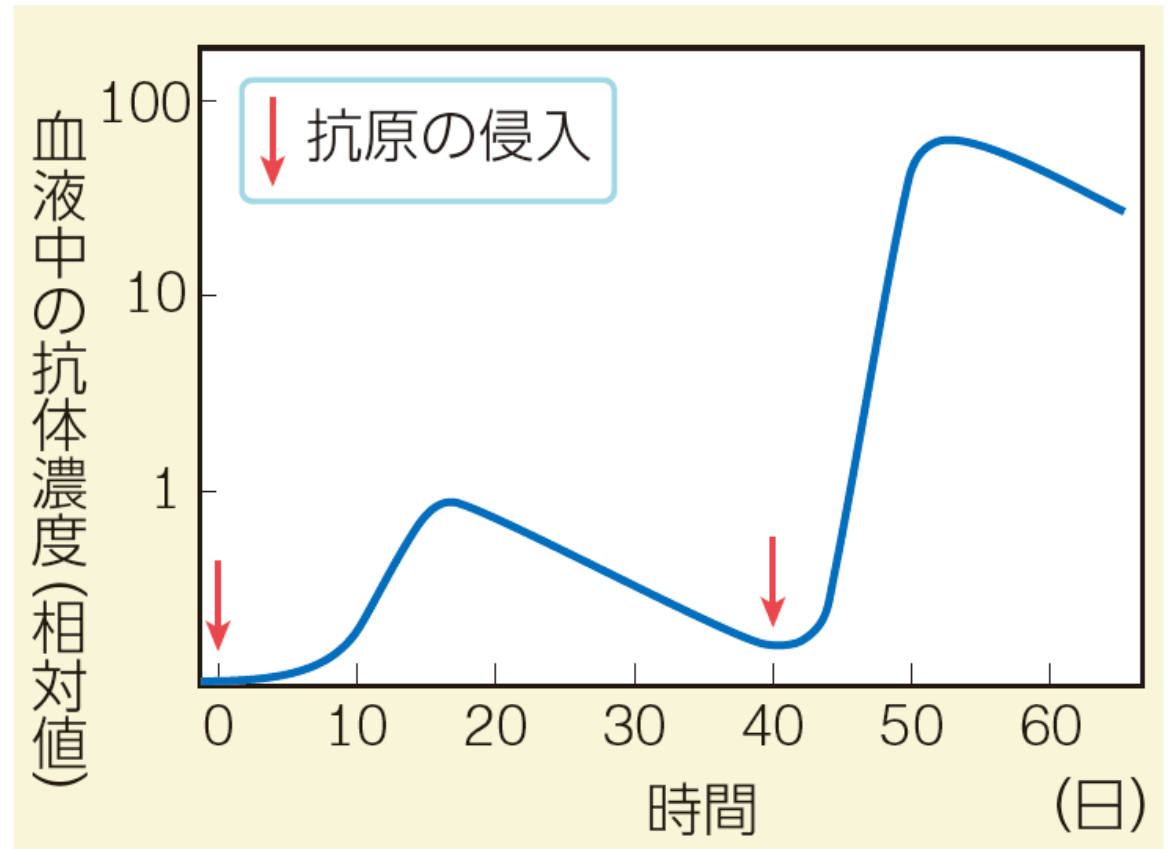
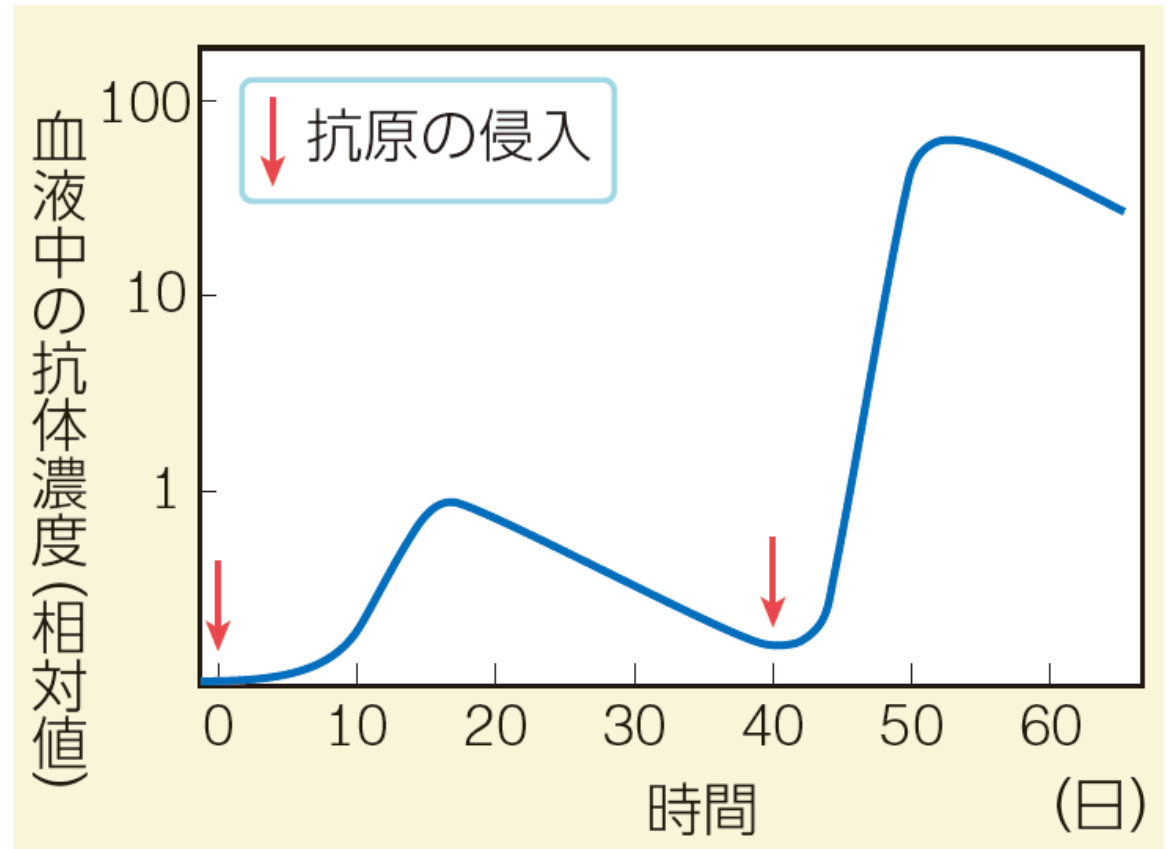


Q.5 図は、ある抗原の侵入の40日後に、再び同じ抗原が侵入したときの、血液中の抗体濃度の変化を示したグラフである。



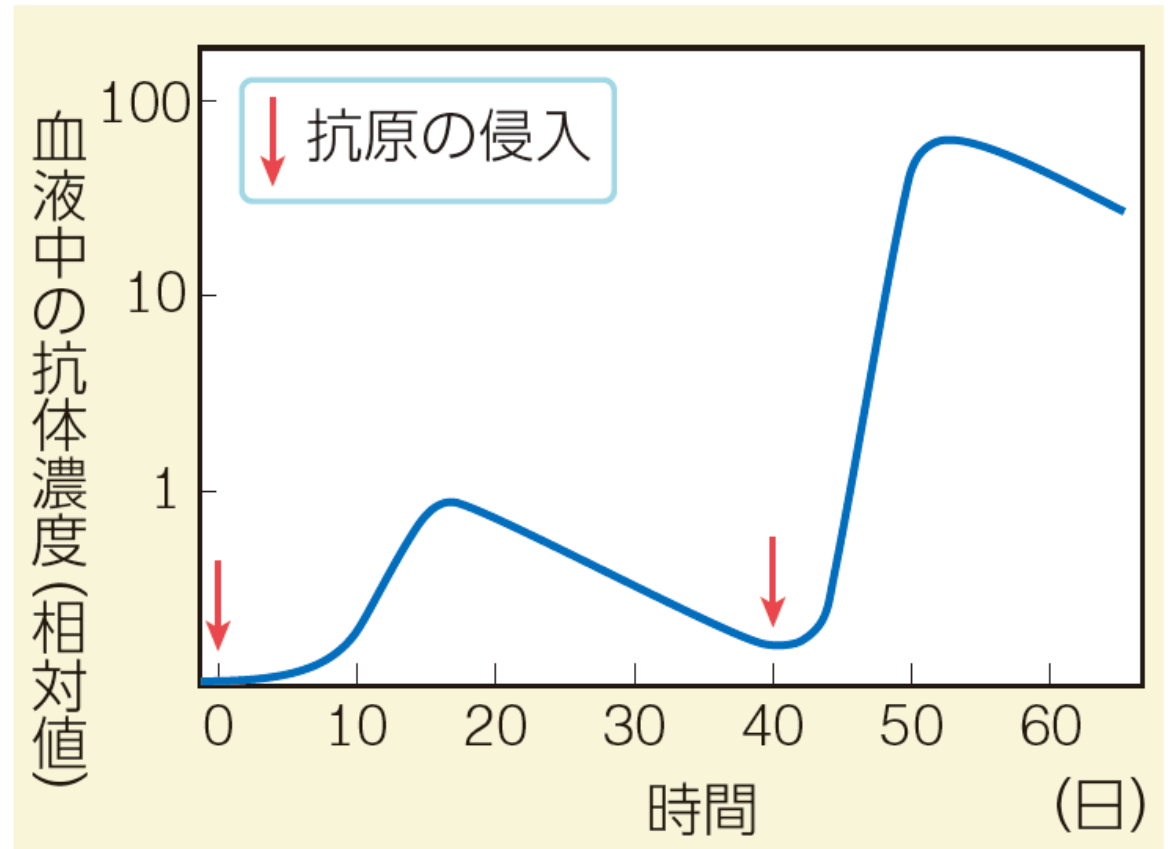
Q.5 1回目と2回目の抗原の侵入に対する, 抗体産生の速さや, 抗体の量について, どのような違いが見られるだろうか。また, その理由も考えて書き出してみよう。

Hint ● 抗体の産生にかかる時間や抗体の産生量は, 1回目の侵入時と2回目の侵入時でどのように変化するか。



Q.5 1回目と2回目の抗原の侵入に対する, 抗体産生の速さや, 抗体の量について, どのような違いが見られるだろうか。また, その理由も考えて書き出してみよう。

Hint ● 抗原の侵入によって活性化して増えたT細胞やB細胞の一部は, 記憶細胞となって体内に残る。このことと上のグラフの結果はどのように関係しているか。





Try

!

多様なリンパ球が用意される過程では、自分自身の成分を異物として認識するものが排除される。これはなぜ必要なのだろうか。考えられることを書き出そう。

Work ▶ 3

次に示す状態で現れる症状や発症する病気を、1つずつあげてみよう。

(A) 免疫のはたらきが低下した場合

日和見感染

(B) 免疫が過敏にはたらいた場合

アレルギー

(C) 免疫が自分のからだを攻撃した場合

関節リウマチ, 1型糖尿病

Q.6 予防接種と血清療法について,それぞれ説明してみよう。

予防接種:

血清療法: